

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学期
文化専門課程(1年制)	表現研究	2021年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	デッサン研究	実習・実技	姚 小全 浅野純人・中嶋明 宮原嵩広
			単位
			2

授業の到達目標	<p>「石膏デッサン」石膏像をよく観察し、デッサンする事で人体(主に上半身)の基本構造を学ぶ。的確な構図・正確な形・効果的な明暗の描写力を習得する。</p> <p>「解剖学概論」人体の基本的な構造(骨格から筋肉へ)についての理解を深める。人体の各部(内側・外側)を造形要素として捉えて描写表現する。</p> <p>「塑像」対象物の「構造・質感・量感」など、立体としての物の捉え方の理解を深める。</p> <p>「人体クロッキー(見えてないところを描く)」クロッキーの様々な手法を学ぶ。「動き」「量感」を意識して様々なポーズの人体を描写する。</p>
---------	--

授業の内容	<p>共通Ⅱ-1 石膏デッサン</p> <ul style="list-style-type: none"> 石膏デザインは首像、胸像、半身像、全身像というように難易度が増します。進める上でデザインの手順や方法を確認する。 首像を顔として認識せずにモチーフとして正確に対象を把握する。 安定した構図で画面を収めることに留意する。 明暗をよく観察し、階調変化を表現する。 <p>この授業では、石膏像をモチーフとし、木炭デッサンを制作する。</p> <p>西洋画のアカデミックなデッサン教育の柱であるギリシャ、ローマ時代の彫刻を模した石膏像をモチーフに使う。この時代の彫刻は理想的なプロポーションやバランスの取れ量感を表現の核としているため、描くこと自体で美しいものに触れることになる。また、石膏像が白無地であることは、デッサンの基本的な形や明暗を描くトレーニングに適している。</p> <p>共通Ⅱ-2解剖学概論</p> <p>美術表現科では主に骨格を学んでもらいましたが、造形科では人体の内部構造を骨格に限定することなく、主に筋肉を中心に、内臓や神経等、様々な視点を広げましょう。</p> <p>そして外見の形や内部構造を造形要素として捉え、自由に構成へと展開させましょう。</p> <p>※対象物(モチーフ)・・・ヌードモデルを用意します。主に連続の固定ポーズを設定します。</p> <p>※内部構造を描く際は、骨格見本(模型)や解剖図(資料)を参考にします。授業で参考にする資料は学校で用意しますが、各自で参考にできる資料があれば持参してください。</p> <p>※授業はじめはクロッキーを行います。</p> <p>共通Ⅱ-3 塑像</p> <p>わたしたちの生活に身近な、野菜をモチーフとして塑像を制作する。</p> <p>モチーフをよく観察していると、それ自体がどのように成長して、現在の形を得ているかという動きがみえてくる。外観を輪郭的に、あるいは色で捉えるだけではなく、物の構造や量感、内部で動いた力の方向性と表面の質の関係などに着目し、表現することを試みる。</p> <p>今後の制作へのヒントとなる気付きを見落とさないように取り組む</p>
-------	--

授業計画 及び 学習の内容

共通Ⅱ-1 石膏デッサン 4コマ
前提講義後、制作 講評会
共通Ⅱ-2 解剖学概論 7コマ
前提講義後、制作 講評会
共通Ⅱ-3 塑像 4コマ
前提講義 制作 講評会

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
教員プロフィール参照

授業持ち物 鉛筆デッサン用具一式、 木炭デッサン用具一式 クロッキー帳、クロッキー用具	学校で準備する教材など モチーフ モデル
--	----------------------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学期
文化専門課程(1年制)	表現研究科	2021年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	研究制作	実習・実技	菊地達也 永井俊一 浅野純人
単位	8		
授業の到達目標	<p>表現研究科では自主性を尊重し各自の研究テーマに基づいて作品制作を行います。 1年間の制作計画(公募展出品も含め)を立てて、それぞれの作品制作に締め切りを設定する事で計画的に制作を進めることを目標とします。</p>		
授業の内容	<p>内容については下記参照</p> <p>※公募展出品や個展などの予定がある場合は教員と相談して制作を進めること</p>		
授業計画 及び 学習の内容			
①エスキース作成			
<p>■作業のイメージ 各自の制作テーマを選定し制作計画を作成する 本年度制作する具体的な作品のエスキースを制作する (取材・資料収集・スクラップブックなど)</p> <p>■条件など 制作テーマが未定の場合は 美術表現科・造形表現科の授業を選択する中で、各自エスキースを制作する事ができる ※サイズ・形態:オリエンテーション時に説明</p>			
②作品制作 I (研究作品の制作)			
<p>■作業のイメージ ①で制作したエスキースを基に作品を制作する</p> <p>■条件など サイズ規定:特になし</p>			
③作品制作 II (SEBIT出品作品の制作)			
<p>■作業のイメージ ①で制作したエスキースを基に作品を制作する</p> <p>■条件など サイズ規定:特になし</p>			
成績評価の方法			
・課題制作 ・制作作品 ・講評会の出席状況			
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)			
<p>教員プロフィール参照 担当教員のうち一人は、一般企業において長く商品アート制作、商品デザインに従事。また美術館と大学との共同プロジェクトにも参加し、社会貢献活動も行っている。</p>			
授業持ち物	学校で準備する教材など		
配付資料			

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学期
文化専門課程(1年制)	表現研究科	2021年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	構成研究	実習・実技	中嶋明 佐藤功 浅野純人

授業の到達目標	<p>「静物着彩」 絵画を感覚的にとらえるのではなく、色と形を構築的に組み立てるシステムとして「明度」を優先した伝統的な制作技法を理解する。 不透明色、透明色の性質、またその扱い方の違いを身につける。</p> <p>「素描模写」 「素描」の概念をワンランク向上させる。 優れた素描作品の模写を通してタブローとしても成り立つ素描制作を迫体感する。</p>		
---------	--	--	--

授業の内容	<p>「静物着彩(グリザイユ応用)」 ○絵画を感覚的にとらえるのではなく、色と形を構築的に組み立てるシステムとしての側面を理解していく。 ○不透明色、透明色の性質、またその扱い方の違いを身につける。 ○木炭によるデッサンから始め、油絵具のシルバーホワイトとピーチブラックの白黒の2色のみで描いていく。 ○形体と空間、材質感など油絵で描くデッサンとしてひとまず完成させる。 ○モノトーンの絵画として描き終えた後、透明度の高い有彩色で色彩を整える。</p> <p>「素描模写」 「素描」の概念をワンランク向上させ、タブローとしても成り立つ素描制作を体感する。 ・様々な作家の素描を調査、鑑賞する ・教員と相談しながら模写の題材を決める ・題材は「人物」「動植物」「風景」「布」など学校で用意したものを使用します</p>		
-------	--	--	--

授業計画 及び 学習の内容			
絵画Ⅱ-1 静物着彩(グリザイユ応用) 11コマ			
前提講義	制作	講評	
絵画Ⅱ-2 素描模写 12コマ			
前提講義	制作	講評	

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

教員プロフィール参照

授業持ち物 ・F15号キャンバス ・クロッキー帳 ・木炭 ・油絵具 (アクリル絵具も可) TMKポスター紙 B3サイズ 2枚 (B2サイズを1枚購入して裁断し、課題の進行によって買い足してください) 鉛筆、コンテ、ペン等画材は題材に合わせて自由 ※模写したい図版を持参しても良いです	学校で準備する教材など モチーフ 教材用図版
--	------------------------------

造形表現科(造形演習応用)と同授業

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学期
文化専門課程(1年制)	表現研究科	2021年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	修了制作	実習・実技	中嶋 明・菊地達也 永井俊一・浅野純人
授業の到達目標	表現研究科では自主性を尊重し各自の研究テーマに基づいて作品制作を行います。 1年間の制作計画(公募展出品も含め)を立てて、それぞれの作品制作に締め切りを設定する事で計画的に制作を進めることを目標とします。		
授業の内容	内容については下記参照 ※公募展出品や個展などの予定がある場合は教員と相談して制作を進めること		
授業計画 及び 学習の内容			
①エスキース作成			
<p>■作業のイメージ 各自の制作テーマを選定し制作計画を作成する 本年度制作する具体的な作品のエスキースを制作する (取材・資料収集・スクラップブックなど)</p> <p>■条件など 制作テーマが未定の場合は 美術表現科・造形表現科の授業を選択する中で、各自エスキースを制作することができる ※サイズ・形態:オリエンテーション時に説明</p>			
②作品制作 I (修了制作)			
<p>■作業のイメージ ①で制作したエスキースを基に作品を制作する</p> <p>■条件など サイズ規定:特になし</p>			
成績評価の方法			
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況			
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)			
教員プロフィール参照			
授業持ち物	学校で準備する教材など		
配付資料			

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学期
文化専門課程(1年制)	表現研究科	2021年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	表現研究演習	講義・演習	佐藤功・結城康太郎 浅野純人・中嶋明
			6

授業の到達目標	<p>「静物着彩(細密画)」 静物画の細密描写を通して、描く対象への観察眼を深める。 描写技術を修得し、表現手段の一つとして活用できるようにする。</p> <p>「人体クロッキー」 後に行う静物と人体の構成の授業の準備として、人体の構造や細部をよく観察して描写する</p> <p>「エスキースを兼ねた作品制作」 自身が興味ある画題について広く・深く調査する。 それを踏まえて修了制作に向かう道筋を明確にしていく。</p> <p>「静物着彩(大型静物・人物の構成)」 デッサン～エスキース～本画という流れを意識して制作に取り組む。 改めて行う人体デッサンを新鮮な気持ちで取り組む。 エスキースは時間の限り多量に制作し、色彩計画まで模索する。 具体的なモチーフのデッサンからスタートし、最終的に絵画作品として自身が何を表現したいのかを考える。</p>
---------	---

授業の内容	<p>「静物着彩(細密画)」 6号～8号の静物画を制作する(有機的、無機的モチーフを組み合わせる)。 スケッチブックへのエスキース。キャンバスへの鉛筆による下絵描写、アクリル絵具での下絵の描き起こし。油彩制作。</p> <p>「人体クロッキー」 複数枚の人体画を制作する。 陰影や現象に捉われず、人体のプロポーションや骨格を正確にとらえる事を意識して描写する。 後に制作する「大型静物との構成課題」の素材としても使用するの、取材のつもりでしっかりと観察する事。 ※1日1枚 計4枚の固定ポーズ(別ポーズ)をしっかりと描きます。</p> <p>「エスキースを兼ねた作品制作」 ・表現への多様なアプローチの紹介 ・資料の収集と扱い方 ・イメージと素材の関係 ・複数のエスキースによる多角的表現の模索 ・テーマや独自の視点の掘り下げ 以上を講義と実習をとおして学びます。(完成度よりアイデアやイメージの積極的な創出を期待します)</p> <p>「静物着彩(大型静物・人物の構成)」 (陶芸の授業を選択した場合、12/9PMに陶芸の授業講評を行う) 教室内に設定した大型の静物と別途制作した人体デッサンを組み合わせて一つの作品に仕上げます。本来別々のものをそれぞれの位置関係や大きさも考慮したエスキースの中から、画面全体の構成やテーマの設定など、具体的なモチーフを用いた作品制作を通して修了制作へ向かう絵創りの基本を学びます。</p>
-------	---

授業計画 及び 学習の内容

絵画Ⅱ—8 静物着彩(細密画) 12コマ	前提講義 制作(途中、学園祭のため大掃除) 講評会
絵画Ⅱ—9 人体クロッキー 4コマ	前提講義 制作 講評会
絵画Ⅱ—10 エスキースを兼ねた作品制作 22コマ	前提講義 制作(屋外スケッチ) 講評会

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況
---------	--

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	<p>教員プロフィール参照 教員のうち1人は国展他、数々の公募展に出品、入賞実績あり。</p>
----------------------	---

<p>授業持ち物 デッサン用具一式、スケッチブック 油絵用具一式、キャンバス(細目6号～8号) 黒のアクリル絵具、細めの面相筆(水彩筆、デザイン筆など可)</p> <p>木炭紙、画用紙(TMKポスター紙)</p> <p>(★:初日に必要) ★水溶性絵具、色鉛筆、カラーペン等の色材 ★デッサン用具 ★クロッキー帳 油絵具 F20キャンバス(サイズ変更可) 各自の制作に向けてのモチーフ(持参可能であれば)や資料(写真や印刷物など)</p> <p>クロッキー帳またはスケッチブック、筆記用具 油彩用具 25-30号キャンバス</p>	<p>学校で準備する教材など モチーフ</p>
---	-----------------------------

造形表現科(造形表現演習応用)と同授業	
---------------------	--